

eラーニングを上手に活用してみませんか

～埋もれている電子ファイル・研修資料・ノウハウの活用～



工学部 総合教育センター 准教授

大嶋 康裕 OHSIMA yasuihiro

■E-MAIL : yohshima@ed.sojo-u.ac.jp

■キーワード

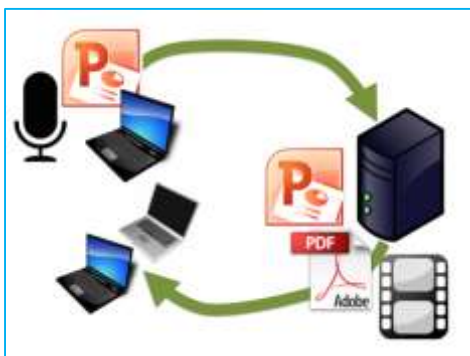
eラーニング、教育、研修、マニュアル

■シース概要

人材育成の方針として研修教材の内製化を行いたい、と考えておられる方も多いかと思います。この「eラーニング」を効果的に活用する方法に関する助言、提案を行います。

上記の状況で「eラーニング」を活用するとき、課題がいくつかあります。

- (1) 専用ソフトウェアに慣れるための時間とコストがかかること。
- (2) 教材作成そのものに時間とコストがかかること。
- (3) 作成した教材が使いやすく整理されていないため利用されないこと。



ただし一定の制約条件下においては、教材作成者・利用者ともに無理なく継続的に「eラーニング」を活用することができます。

例えば PowerPoint スライドにナレーションを加えたものを、共用サーバー上でフォーマット変換を行い教材として配置する仕組みです。

■アピールポイント

- 過去の PowerPoint 資料を埋もれさせず、ナレーションを加えるなどして最小限の修正コストで、社内研修や引き継ぎマニュアルに加工することが可能です。
- このシーズは、サーバー管理者にはある程度知られたアイデアを元にしていますが、ファイル配置の操作などに一定のルールが必要となります。なお、Web インターフェースを搭載して利便性を高めたシステムを熊本大学、熊本県立大学、尚絅大学との共同研究で構築しています。
- 研修講師と受講者との双方向のやりとりが必要な研修の場合は、このシーズは予習・復習教材として補助的に活用することになります。
- 関連して、過去に様々なソフトウェアで作成したドキュメント資産を、現在の PC でどのように活用するか、といった相談もあるかと思えます。有償・無償など多くの変換ソフトウェアを上手く活用していくことがポイントです。

■その他の研究シーズ

- 研修内容の知識定着確認として簡易なテストを手軽に実施したい場合の、オンラインテストの実施形態に関する助言、提案。
- 収集したテスト結果、ログデータに関する統計的な分析手法、可視化の提案。特に、社内人材での分析が可能な手法に関する提案、指導。

■メッセージ

- 本業は数学ですが、サーバー管理者の経験や、XSLT 等の XML 変換言語の調査、IT ツールの教育手法への活用に関する調査などを行ってきまして、ICT に関する知識のカバー範囲を徐々に広げております。
- 情報処理技術者試験の複数の区分、二種、情報セキュリティアドミニストレータ、テクニカルエンジニア（ネットワーク）、システムアナリスト、に合格しております。
- ICT 活用で業務改善を行いたい、とお考えの皆様のお役に立てればと思います。